



# 新生 R8

倉敷市立倉敷第一中学校  
令和8年度学校通信  
令和8年5月18日  
第6号



学校教育目標：心身ともに健康で情操豊かな人間の育成を期する  
校訓：自分をたいせつにする 他をたいせつにする **新しく生きる**

HPのQRです！



## ～1. 2年生校外行事です！～



明日からの校外行事に備えて、2年生は5時間目に、1年生は6時間目に、それぞれ体育館で事前指導を行いました。

4月に進級・入学してから早1か月半が経ちました。1年生は、国立吉備青少年自然の家へ1泊2日で、2年生は神戸での震災学習に日帰りで行きます。

事前指導では、実行委員が司会を行い、スローガンや注意事項などを発表しました。先生方の説明は、真剣にメモを取りながら聞く姿が見られました。この校外行事を通して、クラスや学年の団結を深めたり、知識を身につけたりしてほしいと願っています。

お天気にも恵まれそうです。しっかりした学び、充実した行事になりますように！

なお、1年生は明日の朝、明後日の帰りと送迎をお願いする生徒もいると思います。**決められた時間やルートでの送迎にご協力**をお願いいたします。



## ～心の居場所プロジェクト～



今年度より本校は、県教育委員会の『心の居場所プロジェクト』指定校（3年間）となりました。本プロジェクトの概要をご紹介します。

1 趣旨 生徒一人一人の状況に応じた支援を行い、学校や教室復帰につなげるとともに、自立応援室（みんとルーム）の利用を通して、安心して過ごせる居場所づくりを進めます。また、長期欠席・不登校の未然防止を図るとともに、学校全体で生徒理解を深め、誰もが安心して過ごせる学校づくりを目指します。

2 スタッフ

◇生徒支援コーディネーター：名越 俊明 先生

原則、教科の授業は担当しません。自立応援室（みんとルーム）専属の教員として、生徒一人一人に寄り添い、安心して過ごせる居場所づくりや、学校・教室へのつながりを支援します。必要に応じて家庭やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどのほか、様々な関係諸機関との連携を図ります。また、個々の生徒の支援について協議する「ケース会議」や長期欠席・不登校生徒への対応を検討する「不登校対策会議」等の企画・運営を行います。

◎ 自立応援室（みんとルーム）とは？ ◎

生徒の皆さんが学校や教室に行きにくいと感じた時に…

☆心と体の元気を回復する場所。

☆利用する生徒の安心と安全が保障されている場所

☆自分で1日の計画を立て、未来のことを考えながら自学自習に取り組む場所。

☆学年や学級とつながり、所属しているという自覚を持つ場所。

**\*気になることがありましたら学級担任を通して担当の名越先生までお知らせください。**